



2025年度 読谷高校
6.23平和特設授業

読高生が繋ぐ"あの日"のウミイ
新たな鐘を響かせよう
～創られた平和から創る平和へ～



6/12 木
読谷村文化センター
鳳ホール



あなたにとって 大切な人はいますか？

家族 友達 先生 好きな人。
会いたいときに簡単に会える幸せな私たち
その幸せがいつまでも続くとは限りません。

人にやさしくできるのも、喧嘩も、夢を追いかけるのも、
悩めるのも、隣に大切な人がいてくれるから。
“あなた” がいてくれるから幸せだと感じる事が出来る。

ー 次は私があなたの支えになる番だー

青い海に広い空 受け継がれる伝統文化 歌い舞たい 繋ぐ肝心-ちむぐぐる-

かつてウチナーンチュは魚を取り、畑を耕し、協力
し合って生活していました。

そんな生活の中で人々は豊作を願うため、祝いのため、
恋する気持ち、逢いたい人に逢えない悲しみなどを歌や踊り
で表現したのです。

当たり前のようにあった歌・三線、踊り、文化は沖縄戦が
起きた“あの日”、たくさんの命とともに失われました。
収容所生活の中でウチナーンチュは米軍が廃棄した空き缶から
「カンカラ三線」をつくり、傷ついた心を癒すものとして弾
きました。三線が心の支えとなったのです。

日常に根付くたくさんの伝統文化。
沖縄にとって文化とはどういうものなのか。
是非考えてみてください。



あなたは戦争について 知っていますか？

- 1.戦争と聞いてどんな印象を持ちますか
- 2.戦争時にあなたの年齢と同じ人はどのように暮らしていたでしょうか
- 3.当時、沖縄県民は何人いたでしょうか
- 4.そのうち何割の人が亡くなったでしょうか
- 5.今後戦争は二度と起きないと思いますか
☐はい ☐いいえ
- 6.なぜそう思いますか



沖縄戦

1945年3月末～6月末にかけて沖縄本島を中心に日本軍と米・英軍を主体とする連合軍との間で行われた戦い。住民の犠牲者が軍人よりもはるかに多く、国内唯一、民間を巻き込んで激しい地上戦が行われたのがこの沖縄戦だ。住民の4人に1人が亡くなった沖縄戦。

集団自決 飢餓 捨て石作戦 自決命令 毒薬 スパイ視

壕を追い出されたあの日。逃げ惑ったあの日。
日本が勝っていると思い込んだあの日。
自らの手で家族を死に追いやったあの日。
自分だけが生き残ったあの日。

沖縄戦から80年の今年。
戦争体験者が減ってきている今、沖縄戦を誰が伝えていけば良いのか。あの日を忘れないために私たちに出来ることは何か。
「忘れるな-命どう宝-」

おばあが語る「ひめゆり」

沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の生徒222名と、引率教師18名が看護要員として動員された。それらの愛称が「ひめゆり」である。

戦場の最前線では、祖国の勝利を信じて、砲弾が次々と飛び煙と爆発があたり一面に広がる激しい戦いの中で命ぜられるまま、負傷兵の看護や手術の補佐、死体処理、医療器具・薬品・食料・水の運搬など献身的に活動した。寝る間もないほど過酷な労働の中で命を落とす者もいた。

米軍の侵攻により5月末には沖縄南部へ撤退。6月18日に突然解散命令が出され、彼女らは激戦化した戦場へ放り出された。

逃げ場をなくして命を落とす者、米軍を恐れて自決する者もいた。その結果、100名あまりが戦死した。

彼女らの当たり前にあった日常は悲惨なものとなってしまう。真実から目を覆われ、人間らしい判断や思考も、生きる権利さえももぎ取られ、死の戦場へ駆り立てられた。

私たちはそれを2度と繰り返してはいけない。戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える象徴こそがひめゆり学徒隊の沖縄戦である。



ひめゆり平和祈念資料館





今の読谷村になるまで

現在の読谷村役場は1997年に当時米軍基地であった読谷補助飛行場内に建設された。

昔から重要視されていた風水(フンシ)の考え方においても、読谷村を発展させるために、この場所が最適だった。

村民の土地を村民のために利用するため、武力を行使せず、地道に平和的な交渉を粘り強く続け、村土の95%を占めていた米軍基地は、現在36%まで減った。

返還された土地は、基地から平和へ。村民のための文化村を作るために活用されてきた。それが鳳計画と呼ばれるものである。

このような歴史は私たちに、考えを持ち主張、行動することが変革を生むことを教えてくれる。

私たちは無力ではない。

読谷村復興の歴史は役場前交差点の
読谷飛行場返還の碑・不戦宣言の碑に記されている。

艦砲ぬ喰えー残さー

若さる時ねー戦争の世

若さる花ん咲ちゅーさん

家元祖ん親兄弟ん

艦砲射撃ぬ的に的になてい

着る物喰えー物むる無ーらん

スーティーチャー喰でい暮らちやんやー

うんじゅん我んにん いやーん我んにん

艦砲ぬ喰えー残さー

若い時は戦争の世の中

若い花は咲くことができなかった

家もご先祖様も親兄弟も艦砲射撃的に

着るものも食べるものも全くなかった

ソテツを食べて暮らしていた

あなたもわたしも

君も僕も艦砲の喰い残し

艦砲の喰い残しのあなた

艦砲の喰い残しの私

沖縄で生き残った人は

みんな艦砲の喰い残し



協力:琉球放送

戻って平和？

ガザ地区紛争

若者の投票率 停戦

未知の感染症 足りない資源

ロシアウクライナ侵攻

戦争を軽視するお偉いさん

自衛隊沖縄配備 憲法改正

貧困 台湾有事

差別

まずは関心を持つことから

アンケート用QRコード



不安な現代だからこそ
自分達で情報を集め正しく批判し、
平和的に主張することが必要なのです。
あなたは何を考えましたか？